

本の世界を楽しく体験する読書会 2011

募集対象／未就学児（3才以上）～小学校6年生 活動日／平成23年5月14日（土）～平成24年3月7日（水）（12回）
実施団体名／Apple kids
構成員数／5名 子どもゆめ基金助成回数／2回
連絡先／〒666-0007 兵庫県川西市鶯が丘17-12
TEL・FAX：072-757-2477

活動の概要

本の読み聞かせ会では、大人だけでなく、小学生も「読み手」になり、聞き手、読み手の両方を体験してもらいます。本の世界の体験会では、本の中の世界を実際に体験することで、本を読むことの楽しさを味わってもらい、読書への意欲を持ってもらうことを目的とした活動です。
小学校の近くの集まりやすい公民館などを会場にすることで、多くの人に安心して来て頂ける工夫をしました。



ちゃんと聞いていると、アイスクリームが作れないよ！

活動の日程・内容

本の読み聞かせ会（8回）16：00～17：00 7／6、9／7、10／5、11／2、12／7、 1／11、2／1、3／7（第1水曜日）
・絵本の読み聞かせ。 ・小学生が読み手となって絵本を読む。
本の世界の体験会（4回） 1回目 5／14（土）13：00～16：00
・「かぶとくん」の絵本を読む。 ・カブト虫の幼虫の育て方を学ぶ。 ・幼虫と腐葉土を虫かごに入れて観察する。
2回目 6／12（日）10：00～11：30
・「そらめくんのベッド」の絵本を読む。 ・そら豆の皮でベッドを作る。 ・そら豆とえんどう豆の育て方を学ぶ ・苗を植えて観察し、豆を育てる。
3回目 8／24（水）15：30～16：45
・「ばばあちゃんのアイスパーティー」の絵本を読む。 ・本のレシピ通り、氷やドライアイスを使ってアイスクリームを作って食べる。
4回目 12／21（水）15：30～16：45
・「ちいさいおうち」の絵本を読む。 ・イメージを膨らまして、自分だけのオリジナルミニハウスを作る。 ・子ども同士で自分のこだわったポイントを話し合う。

活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラムと主なポイント

活動のポイント①：小学生が読み手となって絵本を読む

季節にあった本を選び、大人と、小学生が読み手となって絵本を読みました。最後の会では、一番印象に残った本をみんなの前で発表しました。

活動のポイント②：本の世界の体験会

本に書いてある通りの順番、レシピ、格好で作るなど、子ども達自身が主人公になり、本の世界に入り込めるような空間を作り、本の世界を存分に味わい、楽しめる工夫をしました。



本の世界に入り込んで、みんな真剣に聞いています。

活動のねらい

活字離れが進む子ども達に、読書の楽しさを味わってもらい、本を好きになってもらうきっかけ作りを目的としています。また、読むだけの間接体験だけでなく、実際に体験することによって読書に興味を持ち、習慣化すれば、自然と数多くの本の世界に触れることになり、豊かな心の形成に役立つので、本に触れる機会を増やすことをねらいとしています。

活動の成果

- ①本を読みながら、想像力を膨らませるだけでなく、実際に観察、体験することにより、楽しさが倍増し、本を読むことの面白さに気づいてくれたと思います。本の世界を実際に体験することにより、大変活発な活動になりました。
- ②これまで本に興味になかった子ども、体験したことが面白かった事で、参加する子が増え、本の楽しさに触れるきっかけを提供できたと思います。積極的に自分が「読み手」になりたいと手を上げる子も出てきました。

この活動を実施したことによる団体の成長

- ①以前は、固定メンバーでの活動だったのですが、助成を頂くことで、多くの子ども達が本に触れ、本の世界を体験する有意義な活動になりました。
- ②活動に協力して頂いた地域の方々や、教えていただいた講師の方々との新しい交流ができ、ネットワークが大きく広がりました。新たな取り組みをするきっかけにもなり、今後地域の中で団体の活動を広げることができればと思っています。

活動の課題

参加者が集まりやすい公的な場所での開催が望ましいのですが、定期的な会場の早期確保がむずかしいため、予定がなかなか確定できず、参加者募集の広報活動を短い期間でしなければならない事がありました。

今後の展望

身近に本に親しむ機会と場所があることは、子ども達にとって大切で必要なことだと思います。今後も、このような活動を続けていくことが、子ども達の健全な成長につながると思いますので、今回の活動を通じて広がった、子ども達や地域の方々とのネットワークを大切にしながら、更に活動を広げていきたいと思います。



小学生が読み手に挑戦。上手に読めるかな？

団体の概要

Apple kidsは2003年に兵庫県の「まちの子育てひろば」として活動を始めました。
地域の子育て中の親子が集まって親睦を深める目的で、月2回、定期的に活動しています。親子で参加し、絵本の読み聞かせ、工作、リトミック、英語、食育、父親の育児参加、科学遊びなど子どもの健全育成全般に積極的に取り組んでいます。子ども同士の触れ合いによって、豊かな人格形成ができる子育て支援活動を実施しています。

おはなし会で活かす講習会

- 活動期間／平成27年7月17日～9月11日 2回
- 活動場所／白山市松任学習センター 2階 研修室
- 募集地域／石川県白山市
- 募集対象／一般成人
- 募集方法／◆チラシ（配布先：市内図書館、市内保育園、児童館、市内大学）
◆ポスター（掲示先：市内図書館、市内大学）◆広報誌（広報はくさん、松任図書館だより）
◆図書館ホームページ
- 実施団体名／子ども読書活動ネットワーク白山
- 構成員数／20人
- 連絡先／石川県白山市古城町1番地 白山市立松任図書館内 Tel: 076-274-9877 Fax: 076-274-5401



おはなし会の進め方



子供が心惹かれる場面

活動のねらいとポイント

おはなし会を実践研究している講師による講習会を開催し、おはなし会に必要な基本的な技術などを学習します。

具体的なプログラム名	主なポイント
おはなし会でのおはなしプログラムの構成を学ぶ	絵本の持ち方、話し方などの基礎的なおはなし技術の習得する。わらべ唄や素話の順番など、魅力あるおはなし会の構成を習得する。
おはなし会で読む絵本の選び方などを学ぶ	子供におはなし会が与える影響や子供が絵本の何処に興味をもつかなどを踏まえ、本の選定方法について学ぶ。

参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】会場入口において、不審者が侵入することのないように気をつける。
- 【健康管理】会場の空調に気をつけると共に講演中でも適時、水分補給を行う。

活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
7月17日		【おはなし会基礎講座】
	14:00	開会
	14:05	おはなし会プログラム構成の仕方の講義の実施
	14:20	実演による絵本の読み方の技術の講義の実施
	15:00	講義の内容を確認するため、受講者によるおはなし会の実演の実施
	16:00	閉会
9月11日		【子供にとってのおはなし会とは】
	14:00	開会
	14:05	子供にあたるおはなし会の影響についての講義の実施
	14:30	年齢にあったふさわしい絵本を紹介する講義の実施
	15:30	講義の内容確認のため、受講者がおはなし会での絵本の読み方の実演を実施
	16:00	閉会

活動の成果と課題

「おはなし会基礎講座」では、おはなし会の実演をしながら、絵本の持ち方などの技術や、季節に応じた「わらべ唄」や「ストーリーテリング」をプログラムに組み込む方法について講義を行いました。受講者からは、今後のおはなし会で実践したいとの意見や、今回の講師の講義をまた受けたいとの要望などもありました。

「子供にとってのおはなし会とは」では、子供が絵本の「何処に興味をもっているか」に関してや、年齢に応じた絵本を読み聞かせることが「子供たちが絵本により興味をもつこと」につながることを受講者自身が学ぶことができ、ぜひ今回の講座内容を今後のお話会で活かしたいとの意見を多くの受講者から頂きました。

課題として、多くの受講者が集まる魅力ある講習会にするためには、おはなし会会員や保育士などのニーズを把握する必要があると考えています。



絵本の回覧



参加者の実演

団体概要

【目的】「白山市子ども読書活動推進計画」に基づき、市立図書館や学校施設などの市内関係施設と連携をとり、子供たちの読書活動の推進や、子供たちが進んで読書をする環境づくりを図ることを目的としています。
【構成】会長以下、子供文庫、おはなしボランティアなどのメンバー20名で活動しており、年齢は30代から60代、の幅広い構成となっています。また構成員20名の内、男性10名、女性10名です。
【設立の背景】平成17年2月に市町村合併により「松任市子ども読書活動推進研究会」から「白山市子ども読書活動推進研究会」に改称し、平成19年3月に「白山市子ども読書活動推進計画」が策定されたことを機に「子ども読書活動ネットワーク白山」に改称しました。